

【社会活動：対等な社会参画で元気な地域づくりをめざして】

基本施策

①政策や方針決定過程への女性の登用を進め活動を支援します

現状と課題

男女がともにその個性を十分に発揮し、いきいきと自分らしく暮らせる社会の実現のためには、いろいろな考え方を活かしていくことが大切であり、意思決定過程への女性の参画拡大を図ることが求められています。

本市における各種審議会等での女性委員の割合は、平成27年4月現在で24.6%、市議会議員は7.7%、行政委員会は10.8%と方針や政策を決定する場での女性の割合がまだまだ少ない状況です。

方針や政策を決定する場への女性の参画を推進するため、女性の人材育成やチャレンジ支援を充実させるなど、性別に関係なく個性と能力を発揮できる社会づくりが必要です。

施策の内容と行動計画

ア. 各種審議会委員等に女性を積極的に登用し支援します

行 動 計 画		担当部署	新規継続	女性活躍
*	各種審議会委員の女性比率目標を40%とする	すべての部署	継続	○
*	行政委員会の女性比率目標を20%とする	すべての部署	継続	○
	各種審議会等における委員の選出方法の見直しを図り、女性の参画を推進	地域づくり支援課 すべての部署	継続	

イ. 政治への参画意識の高揚に努めます

行 動 計 画		担当部署	新規継続	女性活躍
	女性リーダー養成のための先進事例や研修会情報の提供	地域づくり支援課	継続	○
	明るい選挙推進協議会との連携で政治参画を促す選挙啓発を実施し、若年層の投票率の向上を図る	選挙管理委員会	継続	
	女性の人材リストの作成と活用	地域づくり支援課	継続	

男 女 共 同 参 画 指 標	担当部署	現状値 (26年度)	目標値 (32年度)	女性活躍
各種審議会委員の女性比率	すべての部署	24.7%	40%	○
行政委員会の女性比率	すべての部署	10.8%	20%	○
若年層（18～24歳）の投票率の向上	選挙管理委員会		向上	

基本施策

②自分らしさを発揮できる社会活動の場を提供します

現状と課題

市民一人ひとりが自分らしく生活を楽しむことができ、人間性豊かな社会を実現するためには、趣味やボランティアなどの地域活動への参加も大切です。しかし、ライフスタイルやニーズの多様化などにより、特に若い世代の参加者が少なかったり、活動内容により男女の役割が固定されているなど、市民一人ひとりが地域の一員としてその能力が十分発揮できる状況になっていないといえます。

ボランティア意識の高揚を図り、各団体間のつながり・ネットワークづくりの強化と活動情報の提供や活動支援を充実させていく必要があります。

施策の内容と行動計画

ア．ボランティア意識の高揚を図り、ボランティア団体の育成・充実に支援します

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	生涯学習バンク（よこて学びバンク）のより一層の周知と活用	生涯学習課	継続	
	傾聴ボランティア*養成講座の開催とその活用	生涯学習課 社会福祉課	継続	
	ボランティア活動への参加推進	生涯学習課 社会福祉課	継続	
	ジュニアリーダー*の周知と参加促進	生涯学習課	継続	
	ボランティアコーディネーター*の育成とボランティアの派遣調整	生涯学習課	継続	
	学校支援ボランティアの積極的活用	生涯学習課	継続	

イ. 社会活動への参加促進のために情報を積極的に提供します

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	県の「学びサポートあきた」等を活用した情報提供	生涯学習課	継続	
	生涯学習奨励員等に対する研修機会の充実	生涯学習課	継続	

男 女 共 同 参 画 指 標	担当部署	現状値 (26年度)	目標値 (32年度)	女性 活躍
生涯学習バンク（よこて学びバンク）登録者数	生涯学習課	117人	150人	
ジュニアリーダー [*] 人数	生涯学習課	25人	50人	
ボランティア団体への登録団体数（社協登録）	子育て支援課	55団体	60団体	
学校支援ボランティア登録者数	生涯学習課	681人	1,000人	



基本施策

③男女ともに参加しやすい地域活動を推進します

現状と課題

性別や年代を越えて住民相互の交流を深めている地域もありますが、多くの地区の地域活動では、性別・世代の偏り、また参加者が固定化されている部分もあり、各団体間のネットワークの強化と活動情報の提供や活動支援の充実、活動に参加しやすい環境づくりが求められています。

また、PTA、自治会・町内会、消防団等の活動では、女性の参画の機会はあるものの、役員・団員への就任は限定的で、男女とも地域の中で多様な活動に参加しやすい環境の整備が求められています。

防災の分野や環境の分野では、女性を含めた地域対応力が求められることから、女性の視点に立った防災活動や環境活動についても推進しなければなりません。

施策の内容と行動計画

ア. 人財を育てるしくみを整備し、男女がともに参画できる体制づくりに努めます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	人財育成のリーダー養成や研修講座の開催など 人財を育てるための事業を充実	地域づくり支援課 生涯学習課	継続	○
	人財育成に関わる機関やリーダーのネットワー クづくりの推進	生涯学習課	継続	

イ. 活動内容により固定化している男女の役割を見直します

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	地区会議や町内会等での参加しやすい学習機会 の提供	生涯学習課 各地域課	継続	
	性別、世代を越えた多様な地域活動の推進	地域づくり支援課 各地域課	継続	
	地域活動情報の積極的な提供	地域づくり支援課 各地域課	継続	

ウ. 地域の防災・環境問題に取り組みます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	防災分野における政策・方針決定過程へ女性の参画拡大	総務課 危機管理課	継続	
	地域での防災や消防の取り組みに女性の力の活用	総務課 危機管理課	継続	
	女性の視点を取り入れた防災・復興の体制整備	総務課 危機管理課	継続	
	男女共同参画の視点を反映した防災訓練を各地域で実施	地域づくり支援課 危機管理課	継続	
	男女共同参画の視点を踏まえ、環境保全活動を行っている地域の団体との連携の推進	生活環境課	継続	

男 女 共 同 参 画 指 標	担当部署	現状値 (26年度)	目標値 (32年度)	女性 活躍
人財育成のリーダー養成研修	生涯学習課	2回/年	3回/年	

